

# ビザなし交流通信

四島交流の担い手 私たちも

【連載】北方四島交流インタビュー

【発行】  
北方四島交流北海道推進委員会  
☎ (011)221-3340  
✉ 004@vizanashi.net

無人飛行機の医薬品輸送試験 択捉で実施！？

「ピシモー・パルーチシ！」ローリエの葉で手紙が届く？



北方四島交流インタビュー②

## 四島交流の担い手

## 私たちも

取材協力

別海町ボランティアサークル  
サンキューの会  
会長：中澤 豊子 さん (右)  
事務局長：中根 富士美 さん (左)

### 「私の宝物」

毛筆を手にしたのは初めてだったのだろう。2010年5月、墨を含んだ筆先の感触に苦戦しながら「友情」の2文字を書き上げたのは、国後島に住むロシア人たちだ。

トメ、ハネなどお構いなしの個性的な筆致。絵の具で色鮮やかに描いた野菜の絵と相まって、味わいのある絵手紙が完成した。「エータ・マヤ・ツェンナスチ（私の宝物）」。トマトを題材にした少女はそう言って、自分の作品を握りしめながら笑顔で会場を走り回った。

ビザなし交流で絵手紙の描き方を教えてきたボランティアサークル「サンキューの会」会長の中澤豊子さん（72）は、15年前に国後島を訪問した際のそんな光

ロシアによるウクライナ侵略の影響などで、2020年から中断している北方四島交流事業。事業を支えてきた人たちに話を聞きました。

景を今でも思い出す。喜んでくれたあの少女はどんな大人になったかな。ロシアのウクライナ侵略による日ロ関係の悪化などでビザなし交流が中断して5年。「四島の教え子」に会いに行けない状況に、もどかしさが募る。

### 隣接地域の一人

別海町内の福祉施設でのボランティアを目的に1998年、ホームヘルパー3級課程修了者で結成した同会。活動の一つが高齢者との絵手紙交流だった。四島で絵手紙を教えてほしいと別海町に

頼まれたのは2002年。結成当初のメンバー23人の中に元島民はいなかっただけに、中澤さんは突然の依頼に驚きつつも「北方領土問題は元島民だけの問題ではない。四島の近くに住む一人として携わりたい」と考え、引き受けた。

# 「日本人と作った記憶が大事」

「日本人とロシア人が一緒に絵手紙を作った記憶が大事。ただのお絵かきにはしたくない」。結成メンバーの一人で択捉島を2回訪問した中根富士美さん(62)は、参加を決めた当初の心境をそう振り返る。

説明を聞かずに我流で描き始めてしまうロシア人もいたが、後ろからロシア人の筆に手を添え、漢字の書き順や意味を根気よく伝えた。「顔を近づけて教えると、知らない言葉に戸惑っていた口



▲絵手紙の描き方をパネルで説明する中澤さん(2016年)

シア人が表情をほころばせるのが分かりました」。絵手紙教室は回を重ねるごとに評判を呼び、開始当初は20人程度だった参加者は、多い時には200人を超えるまでに。いつしか「絵手紙の人」「絵手紙のお母さん」が同会の愛称に定着した。

### 返事は絵手紙で

ビザなし交流の再開が見通せない今も、島のロシア人の絵手紙を大切に保管している中澤さん。最後に択捉島を訪れた2

### Check!

北方四島交流事業(ビザなし交流)とは?

旅券(パスポート)・査証(ビザ)なしで行われる、日本人と北方四島に住むロシア人の相互訪問のこと。北方領土問題解決の環境づくりを目的に1992年に開始し、これまでに646回、24,488人の交流が行われています。ロシアによるウクライナ侵略などの影響で、2020年から実施できていません。

018年、ロシア人から言われた「ありがとう」の一言が、今も心に残る。「絵手紙で生まれた縁だから、彼らの感謝の気持ちに絵手紙で返事を書きたい。『どういたしまして』。ロシア語でどう書くのか覚えておかないとね」。優しく笑うその視線は交流再開を見据えている。(川口実南)

### 四島交流 HISTORY

- 1991 四島交流開始
- 1992 日ソ外相間の往復書簡により北方四島交流の枠組みができる
- 1998 サンキューの会結成 四島訪問に学術や文化などの専門家が同行するように
- 2001 ロシア人の日本語習得事業を開始
- 2002 サンキューの会が四島交流へ参加
- 2010 対話集会に代わり意見交換会を開始
- 2020 新型コロナウイルスの流行で事業中止(以降実施できず)
- 2022 ロシアによるウクライナ侵略開始



▲ロシア人に絵手紙を教える中澤さん(左2列目、2002年)

word

## 生活・文化の専門家



What's?

スポーツや文化を通じて日本人と四島に住むロシア人の交流を深めようと、1998年から学術や文化の専門家が四島交流に参加するようになりました。

それまでは元島民や行政関係者を中心に行っていた四島交流でしたが、ダンス、合気道、絵手紙教室（前ページ）といった専門的な知識を持つ人の協力により、新たな交流が始まりました。

## 四島NEWS

四島で話題のニュースとぶち情報をお届け

## 無人飛行機使用の医薬品輸送試験 択捉で実施

択捉島の紗那（クリリスク）と瀬石（ゴリヤーチエ・クリューチ）の間で、無人飛行機を使った医薬品の輸送試験が行われた。研究生産センター「ウインズ・オブ・サハリン」が実施し、4回行われた飛行試験はいずれも成功。同センター代表取締役のヴィクトル・グリツァエンコは「改善の余地はあるが、改良が必要な部分を確認するのが（無人飛行機の使用を）完全なものにするためには大事だ」と語った。

(2025年6月3日 赤い灯台)

知っ  
とこ!

## 四島ぶち情報

## 医療事情

四島では医薬品や医師の数が不足しており、医療状況の改善が課題となっています。北方四島交流等事業でも四島患者の北海道本島への受入や医療従事者間の専門家交流などが行われました。

## 安価な薬を住民に！—サハリン政府の政策—

四島を事実上管轄するサハリン州で住民への医薬品の安定供給を目的に、今年4月からモニターセンターが業務を開始。医師や薬剤師は統一データベースにアクセスし医薬品の在庫確認をできるようになりました。患者への薬の供給期限も決められ、四島へは3日以内に薬を届けることになっています。

(2025年4月1日 ナ・ルベジェ)

## !? 無人航空機発着場建設計画

サハリン州で2030年までに無人航空機発着場が10カ所建設予定。四島では択捉島と国後島が候補地になっています。

(2025年4月3日 サフ・オンライン)



## 色丹島の病院▶

四島交流では島内の病院を日本人団員が視察しました。



\\再開に向け、今こそ知っておきたい//

## 四島交流まめ知識

～ローリエの葉は手紙が届く前触れ～

こんな経験  
ありませんか？

「ピシモー・パルーチシ（手紙をもらえるよ）」  
夕食会でロシア人が指さしたのは、私のボルシチのお皿。  
お皿の中を見ると、ローリエの葉が一枚入っていました…。

スープの香りづけに使うローリエの葉。この葉が入ったお皿を手にした人には手紙が届くというジンクスがロシアにはあります。特に、葉が欠けずに入っていると良い知らせが届くとされています。



パジャールスタ  
пожалуйста  
どういたしまして

▲会話集を片手に話すロシア人の少年と日本人学生（2017年）

「ありがとう」はロシア語で「スパシーバ（Спасибо）！」と知っていても「どういたしまして」の伝え方を知らない人も多いのでは？何かと使える便利な言葉の「Пожалуйста」。「どういたしまして」の気持ちを伝える以外にも、何かをほしい時や、誰かに物を渡す時にも使えます。

例えばこんな会話。

— Дайте, пожалуйста, книгу. (本をください)

— Пожалуйста. (どうぞ)

— Спасибо. (ありがとう)

— Пожалуйста. (どういたしまして)

写真は2017年に札幌市で行われた日本人学生とロシア人の交流会の様子。簡単なフレーズを紹介する会話集を使いながら、互いの気持ちを伝えあいました。

## Объявление

四島交流掲示板

## 2025年 洋上セミナー in 根室

## 参加大学生を募集します！！

北方領土返還要求運動「原点」の地・根室市で  
領土問題のコト、もっと知るッピ！



北方領土イメージキャラクター  
エリカちゃん

実施期間

2025年 9月15日(月)～17日(水)

開催場所

根室市 【集合】新千歳空港または現地

対象者

道内在住の大学生

※定員に余裕のある場合は一般の参加も受け付けますので、お問合わせください。

参加費用

無料



交通費・旅費は旅費規程に従い主催者が負担します。

申込締切

定員

2025年 7月31日(木) 30名

※申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切らせていただきます。



Google フォームまたはEmailにて、ご応募ください。

主催 北方領土復帰期成同盟  
(北方四島交流北海道推進委員会)

お申込み先

Google フォーム



Email

vizanashi01@gmail.com

上記アドレス宛てに、氏名と洋上セミナー参加希望の旨をご記載ください。別途参加申込書を送付します。

【その他、お問合わせ】 TEL (011) -221-3340

## 公式SNSを始めました！

北方四島交流北海道推進委員会の公式SNS (Instagram & Facebook) を開設しました。ビザなし交流に参加したことがある人もない人も、北方領土を身近に感じられるお役立ち情報をお届け！ときにはロシアのぷち情報もぜひ、フォローしてみてください。

Instagram

ビザなし info



Facebook

北方四島交流



ビザなし交流通信は  
コチラからも読めますー



Follow me!!

別海町「サンキューの会」主催イベントで  
ビザなし通信&啓発グッズを配布します！

戦後80年記念事業として、話題のお笑いコンビ・アップダウンの北方領土漫才「ふるさと」の公演が別海町で行われます。サンキューの会の協力で、ビザなし交流通信や啓発グッズも配布します。ぜひご来場ください。

日時 | 2025年7月11日(金) 18:00～19:30 (開場17:30)

会場 | 別海町青少年プラザ 入場料 | 無料